

令和6年度さがみはら生物多様性シンポジウムアンケートの質問への回答

	質問	回答
1	活動において、採集された国外外来種の処分や活用について。展望、研究予定がありましたら教えていただきたいです。(上溝南高校へ)	国外外来種は、絞めてから埋葬してます。活用方法に関しては今後検討していきたいと思います。これからは八瀬川の調査は続けつつ、新しい目標を中心的にやっていきたいです。(県立上溝南高等学校生物探究部)
2	何が、ホトケドジョウを減らす原因となっているのか。	ホトケドジョウを減らす要因は2つあります。1つ目は開発による生息地の減少です。ホトケドジョウは谷戸と呼ばれる湧き水が湧いている所に生息していますが、近年は開発が進み谷戸が失われています。2つ目は護岸による隠れ場所の減少です。湧き水の残っている場所でもコンクリートによる護岸の影響で水草などの隠れ場所がなくなってしまい減少しています。(県立上溝南高等学校生物探究部)
3	上溝南高校生物探究部は普通の生物部とは、別物ですか？	他校の生物部の活動は存じ上げませんが、生物探究部では飼育している生き物のお世話(餌あげ,水槽掃除等)や定点モニタリング調査,環境DNA調査を行っております。また来年度からは昆虫の新種探しを目標に、地域の自然(主に昆虫)を記録していきたいと思います。(県立上溝南高等学校生物探究部)
4	ホトケドジョウについて。葛坂遺跡の有鹿神社付近の湧水にもホトケドジョウがいましたが、現在見つけることができません。DNAで検査できるのでしたら、検査してもらえるのでしょうか。	神奈川県主催河川モニタリング調査の県民ボランティアに登録すれば、環境DNA調査を行う事が出来ますので、よろしければご参加ください。 【参考】神奈川県HP https://www.pref.kanagawa.jp/docs/b4f/suigen/top.html (県立上溝南高等学校生物探究部)